

性の多様性ってなんだろう？

性別というと男と女の2種類だけととらえられがちですが、実はもっと複雑です。近年は表現する言葉が追いつかないほど、性は多様であると認識されるようになりました。「LGBTQ」とは、性的マイノリティの方のそれぞれの頭文字をとった言葉です。この5つの他にも多様な性の呼称は存在します。

「LGBTQ」の言葉の意味

- L Lesbian** レズビアン：女性同性愛者
- G Gay** ゲイ：男性同性愛者
- B Bisexual** バイセクシュアル：両性愛者
- T Transgender** トランスジェンダー：生まれた時に割り当てられた性と心の性に違和感がある人
- Q Questioning** クェスチョニング：自身の性自認や性的指向が決められない、分からない、決めないなどの人

身体的性別	身体の性
性自認	自認する性
性的指向	好きになる性
性表現	表現する性



「性のあり方はグラデーション」とも言われており、性的マイノリティの社会運動を象徴する旗としてレインボーフラッグが1970年代から使用されています。現在は6色(赤、橙、黄、緑、青、紫)が一般的となっています。近年議論されているのは、履歴書に性別欄を設けないことや、女子大学のトランスジェンダー女性の受入れなどです。また、多くの自治体で、同性・異性を問わずパートナーシップの関係にあると届け出た人の自分らしい暮らしを応援するパートナーシップ制度やファミリーシップ制度の導入が進んでいます。流山市でも、2024年2月から、パートナーシップ・ファミリーシップの届出制度が導入されました。ただ、このような変化の中にあっても、当事者は多くの偏見や差別にさらされ、住居の契約ができなかったり、就職を取り消されるなど、社会生活を送るうえで支障を感じています。

私たちは、まずは当事者が直面する困難を知り、それらを解決するために自分はどう行動したらいいかを考えることが大切です。一人ひとりが想像力を働かせ、できることに一つずつ取り組みながら、誰もが多様な生き方を選択できる環境をみんなで作っていきましょう。

～ひとりで悩まずお気軽にご相談ください～

女性の生き方相談

- 相談方法：電話相談・面談相談
- 相談場所：流山市役所市民相談室
- 相談時間：第1・第2・第3・第4金曜日(祝日・年末年始を除く) 10時～16時 1回50分 ※予約優先
- 予約方法：流山市男女共同参画室に電話または窓口でご予約ください。
- 予約・問い合わせ：04(7150)6091

千葉県男女共同参画センターの相談窓口

- 女性のための総合相談
 - ・火曜日～日曜日 9時30分～16時
 - 04(7140)8605
- 男性のための総合相談
 - ・火・水曜日 16時～20時
 - ・土曜日 12時30分～16時30分
 - 043(308)3421

よりそいホットライン

- 性別や同性愛などに関わる相談
- 24時間対応 0120(279)338

編集後記

結ながれやま vol.22 編集員

市民編集員募集中！
関心のある方は事務局までご連絡ください。

あらゆるテーマにおいて知ることから始まります。少しでも興味関心を持ち、相手の気持ちに気づける。そんなきっかけになれば良いです。私自身携わること知るチャンスになっています。(大石智美)

今回は審議会委員の活動を語る機会に恵まれました。特別ではなく、様々な方が関わることができると伝われば良いと思います。(大久保颯子)

今年度は今までの数年の中でも、思うように参加できなかった年になりましたが、メールのやりとり、今まで結で関わってきた仲間の理解と協力で、記事を仕上げることができました。(三條栄子)

『映画〇月〇日、区長になる女。』を見ました。結でも女性政治家に少し触れています。今後増える兆しを感じています。(柳橋和郎)

男女共同参画社会をめざす情報紙 結ながれやま vol.22

企画編集：結ながれやま市民編集員
事務局：流山市総合政策部企画政策課男女共同参画室
〒270-0192 流山市平和台1-1-1
TEL：04(7150)6064 FAX：04(7150)0111
Email：danjokyoudou@city.nagareyama.chiba.jp

記事に関するご意見、ご感想をお待ちしております。
バックナンバーはこちらの二次元コードからご覧いただけます。
または事務局窓口でもお配りしています。



結ながれやま

私らしく あなたらしく

vol. 22
2024.3



目次

- 特集
流山市の男女共同参画を数字で見よう
- ある市民のつぶやき～編集員の体験談～
- 編集員おすすめ図書
- 性の多様性ってなんだろう？
- 相談窓口の紹介
- 編集後記

「思い込みによる男女の色分けにならないよう配慮しました。また、紫は女性への暴力根絶、オレンジは児童虐待防止のシンボルカラーで、男女共同参画社会に大切な色です。」イラスト：三條栄子

男女共同参画を啓発する「結」です。昔、農村の人々は手を貸しあうことを「結」と呼びました。また友達や友愛を意味する言葉でもあります。



特集

流山市の男女共同参画を数字で見よう

男女共同参画とは、男女が互いに意見を交わし認め合いながら、みんなが暮らしやすい社会を作っていくことです。組織の意思決定の場では、メンバーの少数派が構成人数の3割になると、意思決定に影響を持つようになると言われてます（黄金の3割理論*1）。流山市の現状を調べてみました。

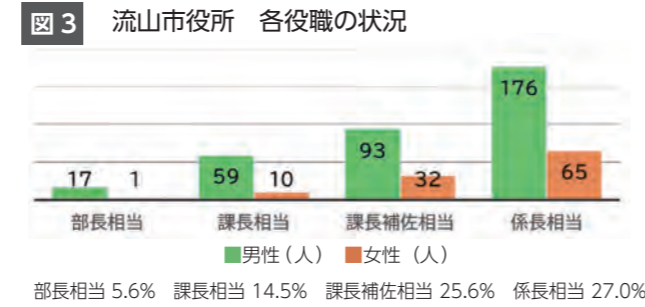
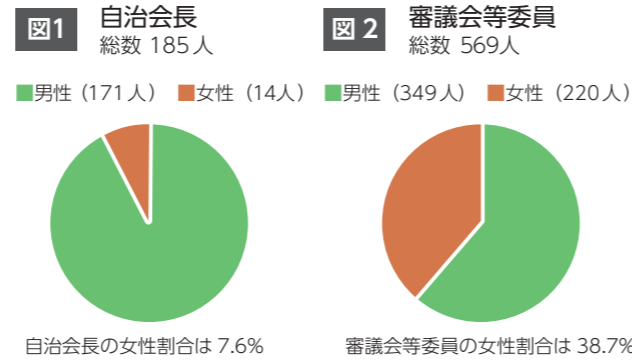
2023年4月の統一地方選挙で、流山市議会議員は28名中9名が女性になり、女性割合が32%に達しました。改選前は28名中6名の女性市議で約21%でしたので、女性の視点が増えました。千葉県市議会における女性議員の割合が、2022年12月末現在で約20%であったことから、流山市は県内でも高い割合といえます。

一方、市内185の自治会では女性の会長は14人で少数です（図1）。しかし、流山市に設置されている審議会等*2の女性割合は、市が目指す女性委員の登用率40%に迫る38.7%です（図2）。ただ、個々の審議会等の男女比には偏りがあるようです。市役所の職員の男女の役職比率は、役職が上がるにつれて女性割合の少なさが目立ちます（図3）。市議会議員の女性割合が3割を超えた流山市ですから、みんなで力を合わせて男女共同参画を進めていきましょう。

子育て世代も積極的に運営に参画しているという設立10年の自治会の会長・仲田亜由美さん、男女共同参画審議会の委員・大久保誕子さん、そして流山市男女共同参画審議会会長の北川慶子さんに話を聞きました。

*1 黄金の3割理論……アメリカの社会学者、ロザベス・モス・カンターが1977年に提唱した理論。組織の中でマイノリティが3割になると、マイノリティの連帯が組織に変革をもたらすことができるというもの。

*2 審議会等……公正で透明性の高い開かれた市政を目指して審議等を行う会議体。専門的立場から意見を聴く目的とともに、委員に市民を含めることで市民意見を市政に反映しています。流山市には現在44の審議会等があり、一部の委員を市民から公募しています。当該年度の公募予定は毎年4月1日に市ホームページ及び広報なげやまで告知します。また、委員は会議等への出席の際に一時保育を利用できます。



(図1~3 2023年4月1日現在)



市内自治会長の仲田亜由美さん

役員として7年自治会運営に携わり、4年間の副会長を経て、前任会長の退任で自然の流れで私が昇格しました。私自身は会長を務める上で性別を意識していませんでしたから、就任の挨拶をした方々に女性会長だと驚かれた時はキョトンとしてしまいました。元々、自治会定例会議は男女問わず子連れ参加者もいて、子どもたちはキッズスペースで遊んでいます。女性班長も多いです。女性の方が地域の事情を知っている傾向があり、女性視点が多いと地域課題が上がってきやすいと感じます。もちろん、地域によって事情は異なるでしょう。ただ、やってみたいという気持ちと地域への貢献の積み重ねがあれば、老若男女問わず誰が“長”になってもいいと思います。自治会長として、その環境は整えておこうと心がけています。

男女共同参画審議会委員の大久保誕子さん

当初は審議会委員など自分に務まるか不安でしたが、現在は市民の立場で自分の意見が言えるようになりました。女性委員が少ない審議会もあると聞き、傍聴してみると、市の職員が男性だけの審議会や、子育て世代が少ない審議会でも子どもに関して審議されていたりもしました。私が委員を務める男女共同参画審議会は、委員も市の職員も女性が多く、自分が少数派と感じることなく意見していますが、女性が自分1人であつたら声を上げられるかと自問してしまいます。どの審議会も、委員だけでなく事務局である市の職員も男女がバランス良く入り、そして多様な年代が参画することが理想のかたちではないでしょうか。

佐賀大学名誉教授、流山市男女共同参画審議会会長の北川慶子さん

2023年、わが国のジェンダー平等（男女平等）達成率は、男性の64.7%（2022年は65%）で、146か国中125位（2022年は116位）と低下しました。なかでも『政治への参加』における男女平等指数は5.7%で、これは世界で最も低いレベル（138位）です。



『教育』と『健康』ではほぼ男女平等が実現しているのに『政治』と『経済』で低迷しているのは、先進国では日本だけです。

なぜ女性が意思決定の場への参画が必要と言われるかという問いに、私たちはこう答えましょう。有権者の約52%は女性です。世界は大きく変わっていく時代に今のままでよいはずはありません。女性が持つ能力の大きさと必要性からSDGsに取り組む企業は多くなりました。女性も若い世代も意思決定の場に参画する意欲を持てば仕事にも家庭にも真の男女平等を実現させることができます。私たち一人ひとりの意識が変われば、多様な選択肢が生まれ、誰もが希望を持てる社会へと変えていけるのです。

ある市民の つぶやき

～編集員の体験談～

犬と散歩をしているときに初老の男性から、「わんちゃんかわいいねー。この子は女の子?」と言われました。女の子ですよと答えると、「だから赤いのを身につけているんだ」と。とっさにアンコンシャスバイアスを感じ、「女の子だからというより、赤が似合っていて元気な気持ちになるからです」と伝えました。

幼少期から茶色の服や暗い色を好んだわたしは、女の子らしい色を選びなさいと言われてきました。「らしさ」に縛られる違和感と生きにくさを感じていました。やがて歳をとるに連れて髪が白くなり、白髪には赤い色の服が似合うのでは、と着るようになりました。



イラスト：三條栄子

無意識の思い込みからの何気ないひとことで、相手を傷つけてしまうことがある。幼少期からの自分の変化を思い出しながら、わたしも気をつけようと思ったある日の散歩でした。

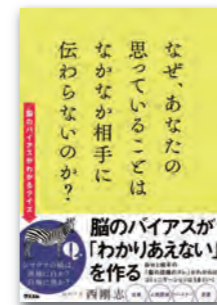
編集員おすすめ図書

『50代で一足遅れてフェミニズムを知った私がひとりで安心して暮らしていくために考えた身近な政治のこと』
著：和田静香（左右社）



パリテ（男女同数議会）の町には、女性（私）が安心して老後を暮らすヒントがあるのでは？20年間パリテを続けている大磯町議会に飛び込んで取材し、エピソードを交えながら綴った政治とフェミニズムのエッセイ。

『なぜ、あなたの思っていることはなかなか相手に伝わらないのか?』
著：西剛志（アスコム）



人と人がわかりあう難しさを、「脳のバイアスのかかり方は人によって違う」ため見方や考え方が異なるのだと、脳科学の最新研究から解き明かす。脳のバイアスを知ることで相手の気持ちがわかってくる本。

『シン・養生論』
著：五木寛之（幻冬舎）



90歳の壁を超えた有名作家の体験からくる言葉。医学の常識にとらわれない健康論を説き、体が発する信号＝身体語に耳を傾けることを勧める。古い老人像から解放される生き方と長生きの秘訣を読み取る。